



佐渡を世界遺産に

世界遺産登録に向けて

第2回トキ野生復帰分科会

12月19日、環境省のトキ野生復帰分科会がトキ交流会館で開催されました。2回目となる同分科会では、トキの飼育繁殖状況や放鳥トキの様子、今後の放鳥計画等について、専門委員による検証、検討が行われました。主な内容については次のとおりです。

○飼育繁殖状況

分散飼育地も含め全25ペアから155個の産卵があり、79個が有精卵、56羽（自然ふ化・・・10羽、人工ふ化・・・46羽）がふ化した。うち50羽が成育している。

○放鳥トキの様子

第5回放鳥では、9月27日、28日

の2日間で18羽すべてのトキが順化ケージから飛翔した。18羽中17羽が島内で確認されており、多くのトキが既存の群れと共に行動している。

○今後の放鳥計画

第6回放鳥は、5月下旬から6月上旬に行う予定。

「おわびと訂正」1月号でお知らせした「新たに17名がトキガイド認定」は「16名」の誤りでした。（試験には17名合格しましたが、うち1名はすでに認定者でした。）おわびして訂正します。

◆市役所農林水産課 生物多様性推進室
トキ政策係（第2庁舎） ☎63-3761

ご寄付ありがとうございました

12月19日、佐渡市トキ環境整備基金への寄付金贈呈式が行われ、佐渡汽船運輸株式会社様よりご寄付をいただきました。これは、平成21年度から行っている「実りの秋キャンペーン」において、トキの野生復帰を応援するトキ応援宅配便料金の一部を基金へ寄付するという取組みによるものです。この取組みは今年で3回目となり、寄付金の総額は62万8,497円となりました。

ご芳志は、トキ保護増殖およびトキの生息環境整備のために活用させていただきます。ありがとうございました。

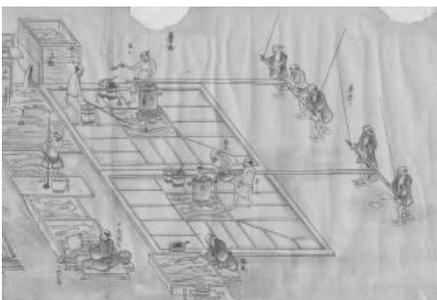


石切場南部遠景



佐渡奉行所跡出土の石磨（下磨）

遺構 矢穴



金銀山絵巻に見る石磨を使った粉成（選鉱）の様子

「片辺・鹿野浦海岸石切場跡」が国史跡に指定されました

平成24年1月24日付官報告示により、「片辺・鹿野浦海岸石切場跡」が国史跡佐渡金銀山遺跡に追加指定されました。

片辺・鹿野浦海岸石切場跡は、相

川市街地より北へ約12km、外海府の片辺から鹿野浦までの海岸を中心とする海岸段丘崖下海岸部に立地する江戸時代の石切場跡です。この石切場跡が開かれた背景には、金銀山への石磨供給が密接に関わっており、ここで切り出された花崗岩質礫岩は船で下相川に運ばれ、金銀山で使う石磨の下磨などに加工されました。

現在、採石は行われていませんが、石を切り出すためにくさびを入れた矢穴が無数に残されており、江戸時代の佐渡金銀山の歴史を物語る遺跡の一つといえます。

今回の追加指定は、江戸時代から長く続いた石切場の痕跡を今も見ることができ、全国的にも類例の少ない極めて重要な遺跡であり、矢穴等の遺構が現在も良好に残されていることが評価されたものです。

◆市役所世界遺産推進課（金井コミュニティセンター内） ☎63-5136

